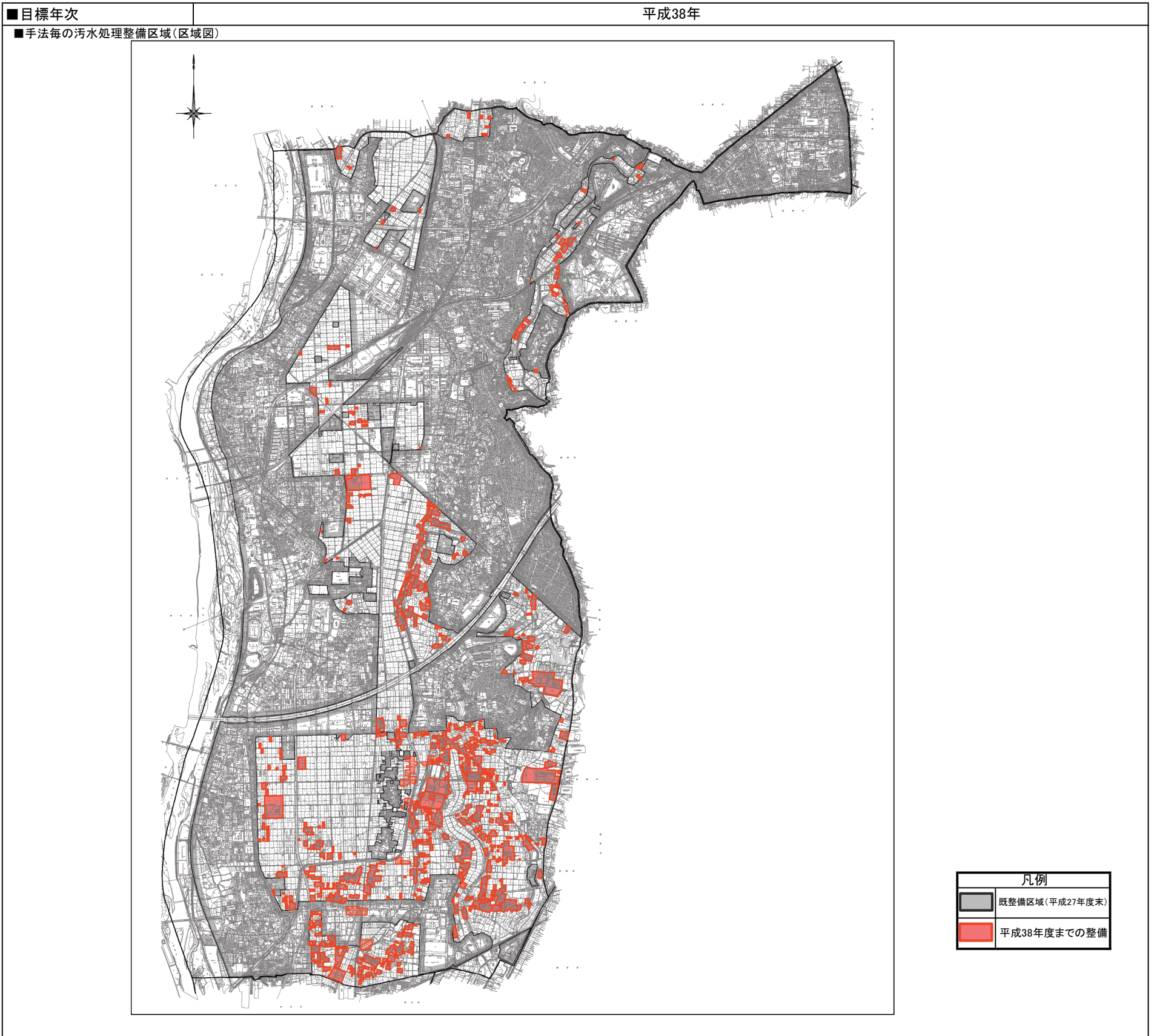


海老名市汚水処理整備計画(アクションプラン)



■整備計画

①整備スケジュール

計画区分	事業	事業内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
			平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成35年	平成36年	平成37年	平成38年
施設整備	下水道	未整備地域の整備										
実行メニュー (早期概成)	下水道	公共下水道の整備推進 (コスト縮減対策を施し効率的に未普及地域の解消を図る)										

②目標値及び概算事業費等

整備手法	項目	全体	公共下水道	浄化槽		その他	早期概成手法	備考 (早期概成手法の内容)
				個人設置型	市町村設置型			
整備手法	整備人口(人)	5,687	5,687				小口径マンホールの使用、処理分区の見直し、道路線形に合わせた施工や再生材の利用を積極的に行い、コスト縮減、工事期間の短縮に努める。 未整備地区である市街化調整区域等は、既整備区域に隣接する既存集落であることから、事業計画との整合を図り流域関連公共下水道で整備する。 また、整備手法は低コスト整備手法であるクイックプロジェクト手法等を活用しながら、コスト縮減対策及び工期の短縮を図り早期に未整備地区を解消する。	
	整備面積(集合処理分区)(ha)	161.5	161.5					
目標値	汚水処理人口普及率(%)	100.0	100.0					
計画水量(m ³ /日)		2,075	2,075					
計画汚泥量(t/日)		—	—					
概算事業費	総建設事業費(百万円)	3,223	3,223					
	年間維持管理費(百万円/年)	2	2					
整備人口1人当たりの建設費用(千円/人)		567	567					
実行メニュー	公共下水道の整備推進	○	○					